

令和7年度第1回仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会（書面開催）概要

- 開催方法 衆議院議員総選挙関連業務対応のため書面開催
- 開催時期 令和8年1月21日（水）～令和8年1月26日（月）
- 委員 丹治委員長、小川副委員長、荒井委員、有坂委員、田口委員、千葉委員
- 議事 令和7年度まちづくり活動助成事業の事後評価

1 議事概要

令和7年度まちづくり活動助成事業実施団体からの実績概要報告書に関し、区民協働まちづくり事業に関する要綱（平成14年3月25日市長決裁）に基づいた仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会を書面にて実施した。評価委員会からの意見等については、各評価委員から提出された意見票をまちづくり推進課でまとめ、各事業実施団体に通知した。

2 評価委員からの意見等概要（抜粋）

(1) 芭蕉の辻を基点としたまちづくり事業

（一般社団法人 芭蕉の辻まちづくりの会）

【意見】

- ・ 15回に及ぶ講演会は終了となるとのこと、これまでの開催に敬意。
- ・ 3年目を迎え事業が更に充実して発展。今後大手門再建計画とも相まって活動が地区内商店街などの理解を得て前進していくことを期待。
- ・ 活動の成果を次世代へどのように継承していくか（区内児童生徒との交流など）を検討することで、さらに良い事業としての運営を期待。

(2) ～みんなが「楽都仙台」を実感するまちに～ストリートピアノで広げる「人の輪」

（一般社団法人～東北を明るくする～仙台ストリートピアノ協会）

【意見】

- ・ 少しでも長い期間ピアノを設置できる場所を確保し、地域に定着していくことが大切。
- ・ 1年目の取組みを実施しての工夫や場所の選定など、雨天での変更は余儀なくされたようだが、2年目らしく活発に活動されていると感じた。特に改築中のフォーラム前での活性化については、周辺商業施設との賑わい創出にもつながり、今後は協賛金なども活用した継続実施を期待。
- ・ 自己資金が少ない点については、グッズ販売や支援者等への働きかけを行い、増収に繋げるといったことも考えられる。

【質問】

- ・ 事業効果をどのような指標で把握・整理しているか

(3) 四ツ谷用水ガイド養成・入門講座

（特定非営利活動法人 水・環境ネット東北）

【意見】

- ・ 着実に成果があがってきていると感じる。2年目の方が実際にガイド体験をしたこと、運営の

サポートもしたことで、座学と現地研修のバランス、試験やワークショップの実施など、3年目に確実につながるものと考えている。

- ・ 暑さ対策は必須。座学と現地研修との組み合わせ、時間設定の工夫は必要と感じる。
- ・ 参加者の6割が新規受講者となっており、四ツ谷用水の歴史を継承するという目的において広がりを感じる。他団体とのネットワーク活動も行いながら幅広い世代への継承を期待。

【質問】

- ・ これまでに育成したガイドの数、規模について
- ・ 活動のPR方法について
- ・ 学びの成果を地域内でどのように波及させていくかについて

(4) 関山街道・日本風景街道ルート登録プロジェクト

(関山街道フォーラム協議会)

【意見】

- ・ 「日本風景街道」のルート登録を目指す中で様々な団体や人と繋がってきたと感じる。関山街道の景観・歴史・文化を地域の皆さんと共有し、多くの人にその魅力が発信されることを期待。
- ・ 多岐にわたった活動で各関係機関・団体との協力体制が必要。日本風景街道ルートへの登録実現に向けて活動の継続・強化を期待。
- ・ 東日本大震災後の継続的な活動に敬意。青葉区西部の観光資源について、多くの活用がなされていくことを期待。また、若い世代への継承について取組みに期待。

【質問】

- ・ 現状のWebサイト活用方法について

(5) 作並・新川地区の地域資源を活かした賑わいづくり

(特定非営利活動法人 作並・新川地区活性化連絡協議会)

【意見】

- ・ 「おもてなしフラワー企画」をはじめ、地域の賑わい創出のためのイベントが参加者も多く好評と感じた。こどもや大人と一緒に参加できるイベントは少ないため、地域での今後の活動に引き継がれていくことを期待。
- ・ 花たんぼ事業については、地域のこどもたちも巻き込み一定の成果が得られたものと感じた。クレソン栽培については、さらに研究を続け事業としてさらに収益性を上げていけるよう期待。
- ・ クレソンは地域の宿泊業者をはじめ販路を拡大されており「新川の清流」という地域資源を活かした特色ある企画だと感じる。また、新川にまつわる様々なエピソードを活用するなど、エリアの価値をさらに高めていくことを期待。

【質問】

- ・ クレソン販売の収益について
- ・ 今後はどのような層への広がりを意識していきたいか

(6) 台原地区の防災を考える（台原地区防災意識向上プロジェクト）

（台原地区の防災を考える会）

【意見】

- ・ 台原小学校との連携を活発に行うことができたことは大きな成果。
- ・ 市民センターへの補助避難所についての調査が興味深い。調査結果等を踏まえながら、当初の目的である台原地区における「防災」の推進が重要。
- ・ プロジェクトを通して、地域の安全に寄与するものと考えている。

【質問】

- ・ 経費の内容について
- ・ 避難所初動運営キット試作品の完成時期について
- ・ アンケート調査について

(7) お宮町「まち歩き」プロジェクト

（「お宮町」まちづくり協議会）

【意見】

- ・ 今後はガイドの数を増やし地域の皆様に楽しんでもらえる事業へと成長できるよう、より細やかな計画が必要。
- ・ 地元を誇りを持ち、歴史や文化を語れる「語り部」が多く養成されることを期待。
- ・ 仙台だけでなく全国のまち歩き先進事例を学ぶ機会なども設定することで、内容の濃いものになっていると考える。地元ガイド養成については事業の継続性に関わる部分と思われるので、改善を図りながらの継続を期待。

【質問】

- ・ 会場使用料について
- ・ 屋外の活動における対策について

(8) 生活困窮者見守り事業の行政等と連携に向けた企画会議及びスタッフ勉強会・就労支援歌声交流会

（特定非営利活動法人グッドニュース・プロジェクト）

【意見】

- ・ 見守り事業の大切さは理解できる一方で、具体的な成果の部分、特に当事者サイドがどのように受け止めているかなどについての観点も必要。
- ・ 就労支援を目的とした「歌声交流会」など取組みが斬新で、孤立した生活困窮者を温かい眼差しで見守っていると感じる。
- ・ 行政が踏みこめない部分のケアだけでなく、生活困窮者と行政のつなぎ手という二役の重要な役割を果たしていると感じる。経験だけでなくスキルも必要と思われるので、勉強会等の継続とともに人員拡充も進められることを期待。

【質問】

- ・ 企画会議、勉強会の会場費等の支出について
- ・ 行政やNPOとの連携だけでなく、営利企業との連携の可能性について

(9) 杜の都のクラフトフェア 2025

(杜の都のクラフトフェア実行委員会)

【意見】

- ・ クラフトフェアへの来場者数や冊子の配布状況等を見ると、大変盛況と感じる。東北工業大学との連携は、今後継続されることを期待。
- ・ サンモール商店街の協力もあり展開できた事業だと感じる。一定の賑わいも生まれ収益も確保されおり、今後の活動に期待。
- ・ イベントを一過性のものとせず、マネジメントサイクルを意識した運営を期待。

【質問】

- ・ 「クラフトまち散歩」の実施回数、参加者数について
- ・ 来店客数の増加など、定量的な成果について
- ・ ボランティアや地元企業との連携について

(10) 錦ヶ丘ママのにこにこマルシェ

(錦ヶ丘ママのにこにこマルシェ実行委員会)

【意見】

- ・ 錦ヶ丘地区の賑わいと、ママ講師・作家さんが子連れで活動の幅を広げられる取組みは、両方にとってメリットの多いマルシェと感じる。
- ・ 初年度でマルシェに集客できたことは評価。2年目に向けて近隣の企業等にも協賛の声がけも考えられる。
- ・ 地域のママたちの発信パワーを感じると共に、それに応える参加者の共感パワーも感じる。この活動がきっかけとなって「自分たちの生き心地の良いまちづくり」へと繋がることを期待。

【質問】

- ・ 収支決算書の記載方法について
- ・ 参加者の継続的な関わりを促す工夫について

(11) みまもり（見守り）のシステム化

(オレンジクラブ広瀬の杜)

【意見】

- ・ 理念は現代社会の課題に対応する大切なものと思われるが、住民の皆さんに対する取組みの定着に向け、その必要性や見守りサービス登録のPRを積極的に根気強く行っていくことが重要。また、継続には、経費の受益者負担についても検討が必要。
- ・ 集いの場としてのオレンジカフェとLINEを使った見守りシステムの取組みについて、同じような課題を持つ人たちと繋がって、情報の共有や助け合いのネットワークができると良い。
- ・ 身近な地域の問題に焦点を当て、無理のない形で活動を継続している点が評価。今後の活動に期待。

【質問】

- ・ オレンジカフェの運営と助成金との関連について
- ・ 見守りサービスへの登録者数について
- ・ 今後の新たな取組みについて

(12) 広瀬川大橋 水辺の青空学校

(GARDEN of RIVER, SENDAI project)

【意見】

- ・ 地域の水域を知り、守っていくという効果も継続的に考えるととても高く、内容も充実。参加費や助成をうまく活用されているが、関連グッズの販売などでさらに自立した活動へチャレンジしていくことを期待。
- ・ 協力団体との連携による他団体イベントへの参加など広がりのある動きがあるほか、参加者の満足度も高い印象。広瀬川への関心拡大という意味では一定の成果が出ているものと評価。次年度は開催回数に余裕をもった形で実施されるようなので、より内容に工夫が必要と思われるが、継続して広瀬川の価値を高める場づくりを期待。
- ・ 自然環境とまちづくりを結びつけた視点が魅力的。多世代の参加を期待。屋外の活動では、安全の確保も重要な観点。

【質問】

- ・ 活動成果の地域への還元について

(13) かけこみ未来塾

(かけこみ未来塾)

【意見】

- ・ 登録生徒の学習習慣、学力、様子の変化でプラス面が見られ、成果が上がったと思われる一方、もう少し多くの生徒による利用があれば、より成果が感じられると考える。
- ・ 参加者をどのようにして募るか、また今後資金がショートしないような、より具体的な施策が必要。
- ・ 任意団体としてこの活動を継続していくには、もっと多くの連携(学校・地域・保護者・行政)が必要。
- ・ 不登校や学習支援が必要な子どもたちへの公的支援は他にも多くあるため、本来の「所属」への理解と繋がり先の確保を行い、並行して支援していくことが必須。また、参加する子ども、関わる大学生や活動者を守るためにも、セーフガーディングの講座や保険、関わる大人の署名などを整備していくことが必要。

【質問】

- ・ 支出経費の内容について
- ・ 参加児童数等にかかる人数(実数)について

(14) プレーパークで西公園 150 周年記念草スポーツ行事 3 種開催

(西公園プレーパークの会)

【意見】

- ・ 三つの行事それぞれが魅力的で、子どもたちが参加してみたいと思える内容と感じる。
- ・ 運動を通して西公園が気軽に楽しく利用できることを周知できたと感じる。
- ・ 西公園の節目となる年に、身体活動を通じて幅広い世代の参加を促した点を評価。今後は、参加者の継続的な関わりを、どのように次の活動へつなげていくかの検討に期待。

【質問】

- ・ 広報の仕方（チラシの配布等）について

(15) 西公園開園 150 周年記念！青葉通フラッグ！！

（青葉通まちづくり協議会）

【意見】

- ・ フラッグ広告の試行ということで、協賛金も集まっており、事業としては有益と感じた。
- ・ フラッグを作るための事業だけでなく、デザイン案に地域の小中学生などにも参加してもらい、地域の人々も参加できるようなイベントに成長していけると良い。
- ・ アンケート結果から得られた知見について、他の事業にも波及させることを期待。

【質問】

- ・ フラッグ広告掲出後の、市民や来訪者の反応に関する今後の評価・活用方法について

(16) 西公園で人形劇を観よう！

（みやぎ子どもの文化研究所）

【意見】

- ・ 西公園で人形劇の公演が開催されたことには、大きな意義。しかし、継続性を考えると屋外での開催には様々なリスクが伴い、参加費無料にも限界を感じる。料金設定等の難しさはあるが、参加者から料金を徴収することも検討が必要。
- ・ こどもたちが人格形成される成長過程で、生の音楽や舞台、人形劇等に触れること（文化芸術活動への参加）は、社会が保障すべきこどもの権利。その機会が少しでも多くなるよう、行政、他団体、企業などと協力し合いながら活動を広げることを期待。
- ・ 今後は、活動の成果をどのように地域や他世代と共有していくかが一つの視点。安全面の配慮も必要。

【質問】

- ・ イベントへの参加人数について

(17) 西公園ガイドブックをみんなで作るプロジェクト

（特定非営利活動法人 都市デザインワークス）

【意見】

- ・ 西公園の歴史や思い出を画像やエピソードを交えてアーカイブする冊子の作成ということで、市民が企画し、記録を残していくこと、形になっていく行程が丁寧。
- ・ 「西公園ガイドブック」の完成後は、青葉区内の小・中学校、児童館等への寄贈を期待。
- ・ 西公園の魅力や価値の再発見につながる取組みと感じる。3月の出版記念イベントや書籍を活用したまち歩き等のイベントにより市民が広く西公園を知り、身近に感じてもらえることを期待。

【質問】

- ・ 各イベントへの参加人数について
- ・ トークセッションの会場場所等について
- ・ 完成後のガイドブックの活用方法・展開について

以上